



アプリ上で職員の安否を確認する訓練参加者＝笠松町田代、松波総合病院

松波総合病院が 大地震想定訓練

トリアージ、アプリ活用

笠松町田代の松波総合病院は、大規模地震を想定した訓練を同病院で行った。職員の安否や負傷者の治療優先度「トリアージ」を初めてアプリ上で管理し、迅速な対応を確認した。

訓練は県からの地域災害

拠点病院指定を受け、毎年実施している。今回はマグニチュード9、震度7の地震を想定。医療のデジタルトランスフォーメーション(DX)を進めようと、アプリを試用した。傷病者役の職員が運び込まれると、医師らがトリアージタグに付いたQRコードを読み込んでアプリ上に情報を共有した。

(安井真由子)